

年 組 名前:

問1

次の文章の①から⑩に当てはまる

数字を、答えてください。

『藤井聡太①冠が、第②期棋王戦

コナミグループ杯③番勝負第④局、

⑤手で勝利。⑥勝⑦敗で棋王を

初獲得し、最年少で⑧冠となった。

タイトル戦の出 場は⑨度目となり、

これまで失敗なく全て制している』

- ①..... ②..... ③.....  
 ④..... ⑤..... ⑥.....  
 ⑦..... ⑧..... ⑨..... ⑩.....

将棋の渡辺明棋王11名人との二冠(38)に藤井聡太五冠(竜王・王位・叡王・王将・棋聖)(20)が挑んだ第48期棋王戦コナミグループ杯(山梨日日新聞社主催、協賛社・大塚製薬)5番勝負第4局は19日、栃木県日光市の日光きぬ川スパホテル三日月で指され、132手で後手の藤井五冠が勝ち、3勝1敗で棋王を初獲得し、六冠となった。20歳8カ月の六冠は最年少で羽生善治九段(52)に続き2人目。

八大タイトルのうち六つを獲得し、全冠制覇が現実味を帯びてきた。タイトル同時保持の最多は羽生九段が1996年、7タイトル時代に達成した全七冠。これまで、六冠の最年少は羽生九段が94年に樹立した24歳2カ月だった。藤井新棋王は「まだまだ、実力的には足りないところが多いと思う。(昨年の)7月以降は対局が多い時期が続いたが、その中で勝負強く指すことができたのは収穫だった」と述べた。

残るは名人と王座のタイトル。4月5、6日に開幕する名人戦7番勝負は渡辺名人への挑戦を決めている。例年9、10月に5番勝負が行われる王座戦では初挑戦を目指す。藤井新棋王は通算タイトル獲得数を13期とし、歴代7位の佐藤康光九段(53)と並んだ。タイトル戦の出場は13度目となり、これまで失敗なく全て制している。渡辺前棋王の11連覇はならず、名人の一冠に後退した。

|| 関連記事22面

# 藤井新棋王 最年少六冠

問2

(2023年3月20日付 山梨日日新聞1面)

藤井六冠が持つタイトルを、すべて答えてください。

.....

問3

これまでの六冠の記録保持者の名前と、その記録を樹立した時の年齢を答えてください。

名前:..... 年齢:.....